

■初版第2刷をお持ちの方

頁・箇所	誤	正
P87 表1 key sensory point (T6~T11)	T6：第6肋骨部 T7：第7肋骨部 T8：第8肋骨部 T9：第9肋骨部 T10：第10肋骨部 T11：第11肋骨部	T6： 剣状突起の高さ T7： T6とT8の間 T8： T6とT10の間 T9： T8とT10の間 T10： 臍の高さ T11： T10とT12の間 注釈：鎖骨中線上のT6（剣状突起の高さ）とT10（臍の高さ）の間を4分割したものが、頭側よりT7, T8, T9のkey sensory pointとなる。
P87 (6) 部分的神経機能残存（ZPP）の解説	S4-S5の知覚（触覚，痛覚，深部肛門圧覚すべて喪失）もしくは運動（ <u>随意的肛門収縮喪失</u> ）の完全麻痺がある場合は， <u>左右とも知覚と運動機能の最も尾側</u> を記載する。	S4-S5の知覚（触覚，痛覚，深部肛門圧覚すべて喪失）もしくは運動（随意的肛門収縮の喪失）の 麻痺がある場合のみ使用し，部分的に残存している知覚と運動レベルの最も尾側 を記載する。
P109 表1 「身体機能評価」の項目	・MMT（右/左）：C5；5/5， <u>C6</u> ； <u>4/4</u> ，C7；3/4，C8以下は0	・MMT（右/左）：C5；5/5， C6 ； 5/5 ，C7；3/4，C8以下は0